

【ユーザーレポート：三次地区医療センター様】

〒728-0013広島県三次市十日市東三丁目16番1号

オゾン水内視鏡洗浄消毒機OED-1000S Plus

※三次地区医療センター様
ホームページはこちら

広島県三次市の三次地区医療センター様は、県内2番目の医師会立病院として1982年に設立、1998年に現在の地へ移転しました。外来診療を設けず、かかりつけ医の紹介による診療、リハビリテーションを必要とされる患者様の転院等を通して地域医療に貢献されてきました。年間約2,500件の内視鏡検査を実施し、2台のOED-1000S Plusが稼働しています。スタッフの方に話を伺いました。

—導入の経緯を教えてください

2013年にOED-1000を2台導入しました。その前は高水準消毒薬を使用していました。ニオイ等でスタッフへの影響を心配することもありましたが、OED-1000はニオイが少なく良いです。検査件数が多いので、現在はOED-1000S Plusへ更新し、2台体制で洗浄消毒を実施しています。

—OED-1000S Plusのご使用感を教えてください

OED-1000S Plusは、まずこれまで実施していた濃度チェックや消毒液交換の手間がないのが良いです。またタッチパネルの画面が大きく見やすいです。特にエラー時に画面上に詳細情報が表示される点が安心します。リークチェック機能については、自動排水でなく、任意のタイミングで排水できるので、自分のタイミングでリークチェックができています。

—メーカーへのご要望をお願いいたします。

内視鏡をトレーに縦に巻く方法について、慣れるまで少し時間がかかりました。洗剤が自動投入になると、洗剤の入れ忘れが防止できると思います。



↑
オゾン水内視鏡洗浄消毒機
OED-1000S Plus：2020年設置。
・シンクの横に設置し、
2台体制で洗浄消毒を実施されている。

